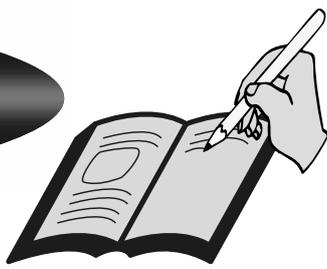


の家計



3月開会の赤平市議会第1回定例会において平成25年度の各会計予算が可決されました。

新年度の予算は、「赤平市財政健全化計画(改定版)」等を踏襲しつつ、財政的に残る課題とされていた病院事業会計についても、平成23年度決算において、不良債務を全額解消し危機的な財政状況を回避したことにより、固定資産税の税率を引き下げるほか、国の緊急経済対策による雇用・経済対策を軸とした施策の展開を図っていくとともに、「第5次赤平市総合計画」の推進に向けて、産業振興・少子化対策・住環境整備の3つの重点プロジェクトを中心とした諸施策を予算化しました。

各会計予算

会計区分	25年度予算額	24年度予算額	前年度比
一般会計	83億6338万円	81億3680万円	2.8%
国民健康保険特別会計	19億6125万円	20億8109万円	△ 5.8%
後期高齢者医療特別会計	2億4869万円	2億4214万円	2.7%
土地造成事業特別会計	17万円	17万円	0.0%
下水道事業特別会計	6億6248万円	6億6549万円	△ 0.5%
霊園特別会計	433万円	542万円	△ 20.1%
用地取得特別会計	4532万円	4532万円	0.0%
介護サービス事業特別会計	2億962万円	1億9315万円	8.5%
介護保険特別会計	14億4290万円	13億3859万円	7.8%
水道事業(企業)会計	4億9452万円	4億8201万円	2.6%
病院事業(企業)会計	26億4120万円	24億6714万円	7.1%
合計	160億7386万円	156億5732万円	2.7%

一般会計性質別予算

人件費は、職員給料を11%から3%削減へ縮減したことにより前年度比8,002万円(6.0%)増加し、物件費は戸籍データ作成費などにより前年度比1億5,505万円(18.6%)増加し、普通建設事業費は公営住宅整備や道路新設改良、都市公園改修事業など前年度比8,392万円(13.9%)増加となっているが、国の緊急経済対策を活用した平成24年度からの繰越事業を加えた実質的な普通建設事業費は、前年度比4億2,280万円(70.0%)の増加となっています。

また、繰出金は、おもに国民健康保険特別会計に対して減額となったことにより前年度比6,726万円(△6.0%)の減少となっています。

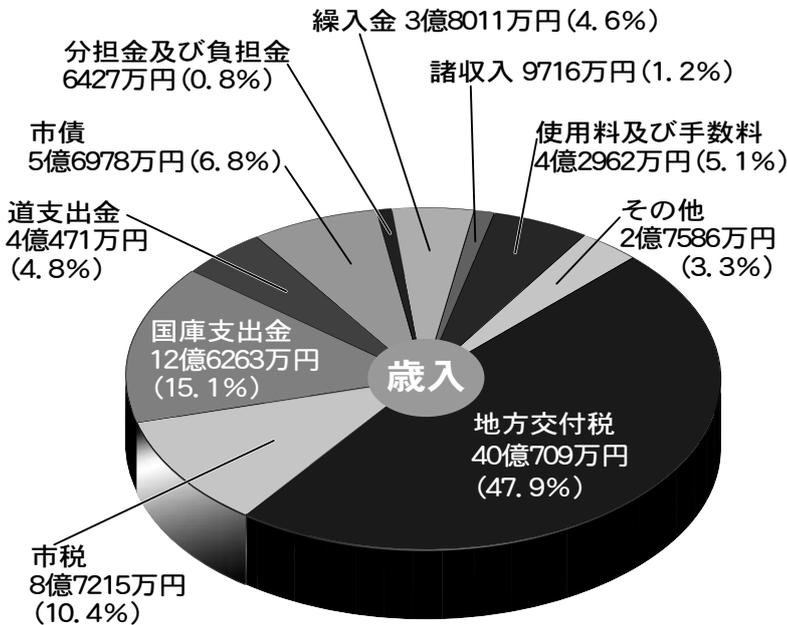
性質別区分	25年度予算額	24年度予算額	増減率
人件費	14億949万円	13億2947万円	6.0
物件費	9億8750万円	8億3245万円	18.6
補助費等	10億4763万円	10億8646万円	△ 3.6
扶助費	17億5454万円	16億9602万円	3.5
普通建設事業費	6億8829万円	6億437万円	13.9
維持補修費	2億8736万円	3億3213万円	△ 13.5
公債費	8億9269万円	8億8639万円	0.7
積立金	241万円	360万円	△ 33.3
投資及び出資金	1億7966万円	1億8486万円	△ 2.8
貸付金	3472万円	3470万円	0.1
繰出金	10億5909万円	11億2635万円	△ 6.0
予備費	2000万円	2000万円	0.0
合計	83億6338万円	81億3680万円	2.8

○性質別…歳出を、経済的性質を基準に分類したもの。

<h3>教育費</h3> <p>4億496万円</p> <p>学校や社会教育の振興、学校施設の整備に使われる経費</p>	<h3>公債費</h3> <p>8億9269万円</p> <p>市が事業を行うために借り入れていたお金の返済金</p>	<h3>諸支出金</h3> <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険特別会計 2億7664万円 下水道事業特別会計 2億4653万円 介護保険特別会計 2億2108万円 病院事業会計 7億9739万円 など <p>特別会計・企業会計に対する繰出しなどの経費</p>	<h3>職員給与費</h3> <p>13億4516万円</p> <p>市で働く職員の給料などを支払う経費</p>	<h3>その他</h3> <ul style="list-style-type: none"> 議会費 5481万円 農林水産業費 9169万円 労働費 503万円 消防費 9068万円 予備費 2000万円
--	---	---	--	---

平成25年度 赤平市予算報告

赤平市



歳入の主な内容

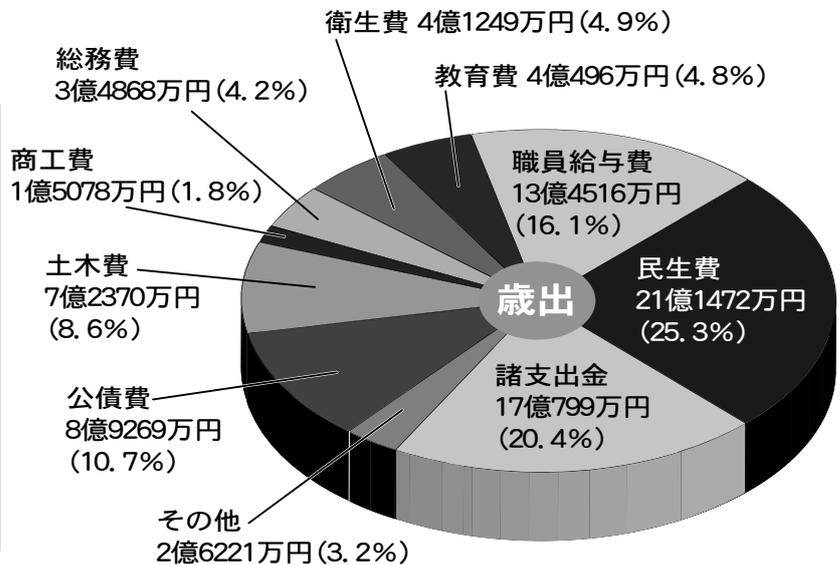
市税収入は、固定資産税の税率を1.5%から1.45%への引き下げや人口減少などの影響があったものの、年少扶養控除の廃止による実績見込みや一部景気回復などもあって、前年度比548万円(0.6%)増加し、地方交付税は、普通交付税の振替措置である臨時財政対策債も含めると前年度比1億6,531万円(△3.7%)の減少となっています。

また、繰入金は、財政調整基金の繰入れなどによって、前年度比2億6,148万円(220.4%)増加し、市債は、国の緊急経済対策に関連し、大型事業を平成24年度補正予算に振替えたため前年度比9,561万円(△14.4%)の減少となっています。

歳出の主な内容

総務費は、戸籍データ作成費やズリ山展望広場整備工事などにより、前年度比で1億5,966万円(84.5%)増加し、教育費は、東公民館や総合体育館の施設整備工事などにより前年度比6,756万円(20.0%)の増加となっています。

また、諸支出金は、国民健康保険特別会計に対する繰出金の減少などにより前年度比6,255万円(△3.5%)の減少となっています。



総務費



3億4868万円

庁舎管理や徴税、戸籍、選挙、監査委員などにかかる経費

民生費



21億1472万円

高齢者や生活保護など市民の福祉対策に使われる経費

衛生費



4億1249万円

検診など保険予防対策やごみ処理、環境衛生などの経費

商工費



1億5078万円

商工業の振興対策や観光の振興に使われる経費

土木費



7億2370万円

道路整備や公営住宅建設、除排雪に使われる経費